

「つくっては壊す」から「長持ちさせる」時代へ

強くて長持ち「長期優良住宅認定取得」

持続可能な社会形成を推進

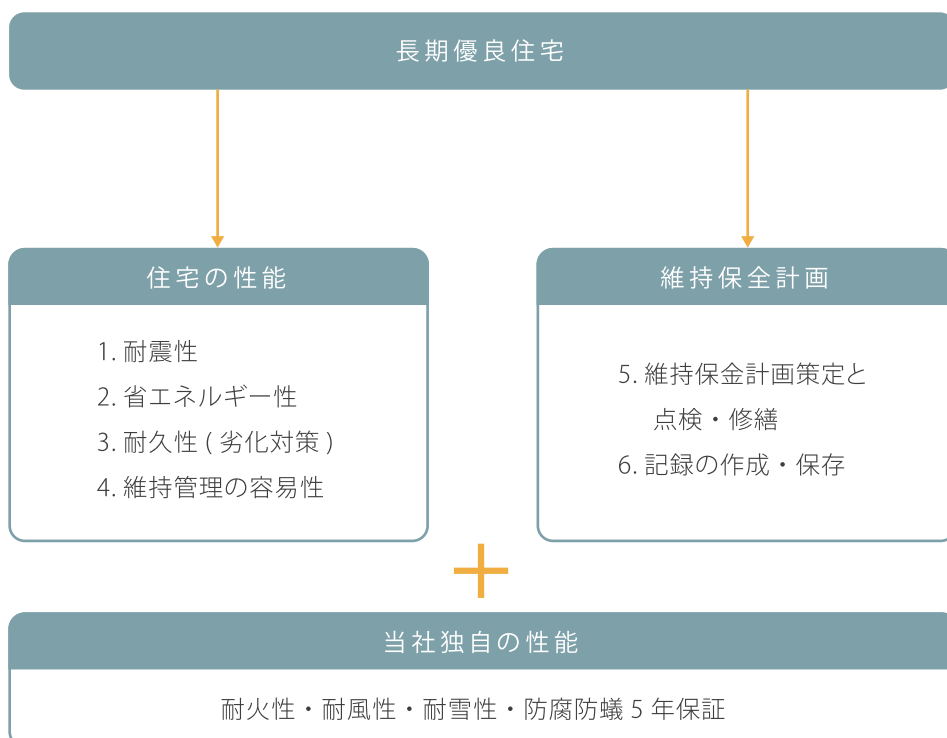
「環境負荷の軽減」 「国民負担を軽減」で豊かでより優しい暮らしへ

長期優良住宅は、住宅を長期にわたり使用することにより、住宅の解体や除去に伴う廃棄物の排出を抑制し、「環境負荷の低減」を図るとともに、建替えに係る費用の削減によって「国民負担を軽減」し、より豊かでより優しく暮らすことを目的としています。

「つくっては壊す」から「長持ちさせる」時代へ。
持続可能な社会の形成に向けてNEXTは住宅の長寿命化を進めていきます。



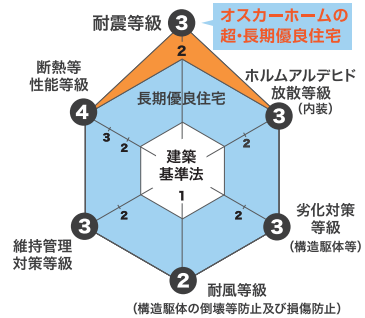
長期優良住宅の認定の対象は、「住宅の性能」と「維持保全計画」が2本柱となっています。「住宅の性能」は、経年変化によって低下します。そこで「維持保全」を適切に行うことで、性能の低下を穏やかにし、長く安心して住める住宅を目指しています。また、長く住むためには、住宅の基本性能である耐火性・耐風性・耐雪性も重要になってきます。



超・長期優良住宅

オスカーホームは長期優良住宅の基準を超える、『超・長期優良住宅』が標準仕様。様々なメリットを受けることができます。

長期優良住宅に対応していない住宅メーカーで認定を受けるには、その基準を満たすための性能向上と対応時間がかかります。当社は長期優良住宅仕様を標準。現状の仕様のみで認定を受けることができる耐久性の高い建物であることはもちろん、各種の税制優遇や地震保険料の割引適用など、さまざまなメリットを受けることができます。



■「長期優良住宅」認定基準一覧と当社の対応

標準仕様

性能項目	認定の基準	認定条件	当社の標準			
1 耐震性	<p>極めてまれに発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化を図るため損傷のレベルの低減を図ること。</p> <p>等級1=おおむね震度6強~7の大地震に対し即時倒壊しないレベル 等級2=おおむね震度6強~7の大地震後にも、補修により建物を利用できるレベル</p>	耐震等級 2以上	1	2	3	認定基準以上
2 省エネルギー性	<p>必要な断熱性能などの省エネルギー性能が確保されていること。</p> <p>次世代エネルギー基準対応 2005年発効「京都議定書」CO₂などの温室効果ガス削減目標を具体化していくための基準</p>	省エネルギー 対策 等級4	1	2	3	4
3 劣化対策	<p>数世代にわたり長くすむことが可能な家であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 床下及び小屋裏点検口を設置 床下空間に330mm以上の有効高さを確保 	劣化対策 等級3	1	2	3	
4 維持管理／更新の容易性	<p>構造躯体に比べて耐用年数が短い内装・設備について、維持管理（清掃・点検・補修・更新）を容易に行うために必要な措置が講じられていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造躯体に影響を与えることなく配管の維持管理を行うことができること 更新時の工事が軽減される措置が講じられていること 	維持管理 等級3	1	2	3	
5 維持保全計画	<p>建築時から将来を見据えて、定期的な点検・補修などに関する計画が策定されていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10年ごとに点検を実施 	—	30年 メンテナンス 計画表			
6 記録の作成・保存	<p>長期優良住宅に認定された住宅はその建築及び維持保全の状況に関する記録を作成し、これを保存すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅履歴情報の適切な整備及び蓄積 	—	住まいの 記録簿			

※床面積75㎡未満、計画道路にかかる敷地など、条件が満たない場合は対象外となります。